

## 実験2

### 食塩やミョウバンがとける量

## 手順

めあて

メスシリンダーを使うなどして水の量を変えて、ものが溶ける量を調べ、結果を記録させる。

手順

- ① 実験1でつくった水 50mL に食塩 10g を溶かした水よう液をビーカーに入れる。

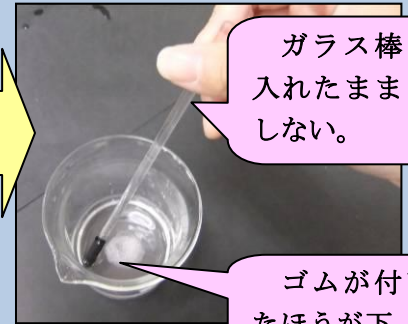


- ② 薬包紙に食塩を 1g ずつはかりとる。



薬包紙は対角線に折っておく。

- ③ 「溶けない」の判断基準を確認する。(例 つぶせないくらいの細かい粒が、かきまぜたあとも中央に残っている。等)



ガラス棒を入れたままにしない。

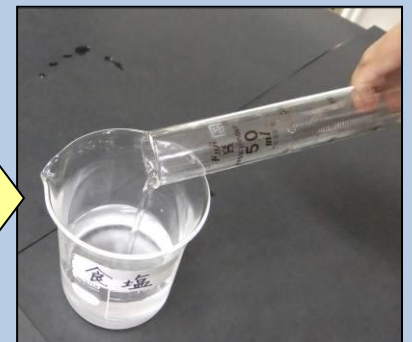
ゴムが付いたほうが下。

- ④ 食塩を 1g ずつ入れて③のようにかきまぜてとかしていく。必ず、とけきってから次の 1g を入れる。(とけ残りが出るまで行う。)



食塩 1g ずつ

- ⑤ 水の量を倍の 100mL になるように水を足し、それぞれ④⑥と同様に実験する。



- ⑥ 別のビーカーの水 50mL に、ミョウバンを 1g ずつ入れてとかしていく。(食塩と同様に、とけ残りが出るまで行う。)



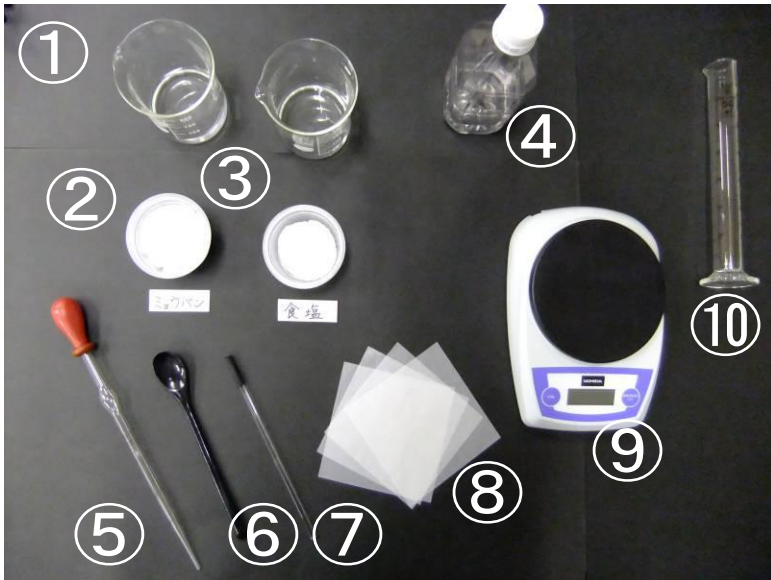
ミョウバン 1g ずつ

## 実験2

# 食塩やミョウバンがとける量

# 準備

### 準備物 (1班分)

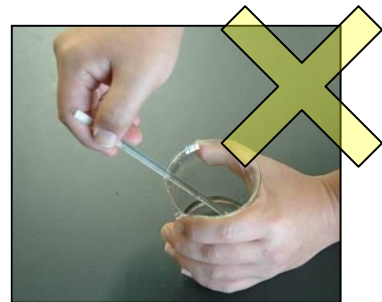


- ①ビーカー (200mL×2)
- ②ミョウバン 10g
- ③食塩 40g
- ④実験1でつくった水溶液  
(水 50mL に食塩 10g を溶かしたもの)
- ⑤駒込ピペット
- ⑥葉さじ
- ⑦ガラス棒 (ゴム付き)
- ⑧薬包紙 ※上質紙も可  
(食塩用に 30 枚、ミョウバン用に 10 枚)
- ⑨電子てんびん
- ⑩メスシリンダー(100mL)

### マメ知識

Q 低い温度でミョウバンがたくさん溶けてしまうのは？

A **ビーカーを持つ手のひらの温度で液温が  
上がってしまった可能性があります。**



### 解決策

ビーカーの上部を持ち、液温が上がらないように声かけをする。

